
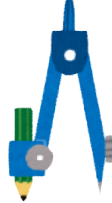
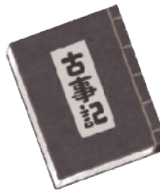





# 休校中 各教科からのアドバイス

教科	具体的なアドバイス
<p>国語</p> 	<p>課題+ (入試勉強も含む) について ...課題のやり方はプリントに書いています。  <u>課題プリントの文法ページをやる 自分が持っている国文法を見てもう一度ノートに解く</u>          ...例えば「格助詞」が終わったらこのやり方でもう一度解いてみよう。頭が混乱するので助詞の種類学習は一日につき1種類ずつ。入試に出やすい問題はプリントに書いてあるので確実に解けるように。分からなければメモをとって授業再開後に質問しよう。  <u>課題プリントの教科書ページをする前にその部分を音読しよう。</u>音読は明治維新前からある学習法で、そして認知症予防等でも活用される学習法です。1人でも大きな声でやってみよう。  <u>俳句を2、3日に一つ作ってみよう。</u>最終的にいい作品を選んで課題の俳句用紙に清書。  <u>漢字・文法の入試勉強として1年からの「単元別漢字」「国文法」を解き直す。「単元別」は特に後ろのほうのページの同音異義語などが入試に頻出!</u>  <u>今までの定期テスト等を解き直す。</u>...国語科に関わらず、かなり有効な入試勉強です。  <u>新聞・ニュースをチェックし、毎日ほんのちょっとでもいいので自分の意見・感想を書く(「臨時休校のしおり」に書いてもGOOD)。</u>面接試験、作文試験ではあなたの意見を聞かれます。  <u>公募(俳句・短歌・詩コンテスト、ネーミングコンテスト、イラスト・ロゴマークコンテストなど)に挑戦してみる...雑誌「公募ガイド」ホームページ「公募ガイドOnline」を参考に。</u>          部活等ができないイライラした気持ちなどをこの際、「作品」にして投稿・応募してみよう。賞品ありのコンテストも多数あり。表現力アップにつながります。時間がある休校中にぜひ!</p>
<p>数学</p> 	<p>解説プリントと教科書を読んで理解を深める。例題が解けるようになるう!          問題プリントに取り組む。分からないときは、解説プリントや教科書を参考に挑戦しよう!          解答プリントを見て丸付けをする。間違った問題はもう一度解きなおす。ここで分からないことをそのままにしないこと!          課題プリントや問題集を活用し、演習量を確保しましょう。短時間でも毎日数学にふれること。数学は積み重ねの教科です。できない問題がでてきたら前の分野に戻って復習すること。例えば中2で学習した連立方程式がわからない時は、中1で学習した方程式に戻って復習しましょう。余力のある人は入試での出題頻度の高い関数や図形の問題の練習量を増やしましょう!!!  <b>訂正 数学の課題プリントの表紙に訂正があります。</b>          (配布されたもの) 解説4枚 5枚, 問題2枚 3枚, 解答1枚 2枚です。          (振り返り)“多項式5”と“多項式6”については、余白に記入してください。</p>
<p>社会</p> 	<p>歴史について          兵庫県公立高校入試問題では<u>“明治～昭和”までの内容は毎年出題されています。</u>          教科書を参考にして、しっかりと学習していきましょう。</p> <p>公民について          学校での学習ではまだ公民には入っていません。しかし、地理や歴史を参考にすれば一人で学習することも可能となっています。地理や歴史の教科書を参考にして学習していきましょう。  <u>宿題が早く終わった人は次の内容を予習・復習していこう</u>          兵庫県公立高校入試で過去3年出題されていない地理の主な単元          地理・・・世界の諸地域(オセアニア・北アメリカ・アジア)          日本の諸地域(北海道・九州)          兵庫県公立高校入試で出題頻度が高い主な単元          地理・・・“地形図” 歴史・・・“文化史”“明治～昭和”          公民・・・“民主政治”“くらしと経済”</p>

<p>理科</p> 	<p>1 回目に教科書を読むときは、( ?マーク 話し合ってみよう 考えてみよう 実験結果 考察 など ) は一度自分で考えてから読み進めていく。先へ先へと読み進まず考えを理科ノートの右の空白に記入する。2 回目は重要語句や結果、考察などを覚えながら読む。</p> <p>理科ノートは、1 回目は教科書や理科便覧を見てカッコには書き込まずに、右の空白に書き答え合わせ。2 回目は、右を隠して何も見ずにやって答え合わせ。</p> <p>、 をしっかりとやり理解して白プリントを何も見ずにやる。解らない所を教科書や理科便覧を見てやる。答え合わせをするときにどこが解らなかったのかが分かるように、何も見ずに正解と何かを見たり解らなかったところが分かるようにしておく。</p> <p>学校が再開したときに、先生に質問する内容を分かりやすいように自分でまとめておく</p>
<p>英語</p> 	<p>・教科書 : Lesson 1 ( P6 ~ P13 )</p> <p>Lesson 1 pre-lesson は教科書を読み、英語ラボ、配布の補助プリントもやってみよう。</p> <p>*教科書の文章や新出単語を読む際、教科書「トータルイングリッシュ」学校休校中無料オンライン音声データの使用も可です。学習の参考にして下さい。</p> <p>( 出版社の許可有り ) *グーグルドライブを使って CD を掲載しています。</p> <p>Google ドライブへのアクセス用 QR コード</p>  <p>*教科書会社「学校図書」のサイトでも音声と教科書のデータが休校中の「学習支援コンテンツ」として掲載されています。</p> <p>学校図書のサイト <a href="https://gakuto.co.jp/contents-worksheet/">https://gakuto.co.jp/contents-worksheet/</a> 「英語」「3年音声付き学習者用デジタル教科書 chapter 1 のみ」</p> <p>Lesson 1 A、Lesson1B、Lesson 1 C は教科書を読み、英語ラボもやってみよう。 英語ラボは「ポイント」の所をよく読み学習をすすめてください。</p> <p>*また、Lesson 1 B からは過去分詞の不規則動詞が出てくるので、「覚えよう不規則動詞の変化」を読み、書けるようになるまで練習をしよう。</p> <p>*家庭学習参考資料 「新興出版」「ホントにわかるシリーズ動画」「中学校3年英語6～9受け身」 <a href="http://www.honwaka.me/sub/eng_c3.html">http://www.honwaka.me/sub/eng_c3.html</a></p> <p>・3年間の整理と復習(～P37まで)をすすめておこう。 ・英語ラボ、3年間の整理と復習、補助プリントは自分で答え合わせをしましょう</p>

**課題が入っていた封筒とファイルは、再利用します。封筒とファイル両方に、組・出席番号・名前を必ず書いておいてください。また、課題を持って来る際は、入っていた封筒・ファイルに入れて持って来ること。**

5 / 15 ( 金 ) に学校 HP にて、実技教科の先生からのアドバイスを掲載する予定です。学習の参考にしてください。

課題が終わった人は、尼崎市 HP で配信されている「スタディサプリ」で、家庭学習を進めてください。( [あまっ子 動画・番組学習 家庭学習支援サイト](#) <http://www.ama-net.ed.jp/> )